金属/n-Ge 接合への Si_xGe_{1-x-y}Sn_y 層挿入による ショットキー障壁高さの低減 Reduction of Schottky barrier height of metal/n-Ge contact by insertion of Si_xGe_{1-x-y}Sn_y layer ¹名古屋大院工、²学振特別研究員、³名古屋大未来研 ⁰鈴木陽洋^{1,2}、戸田祥太¹、中塚理¹、坂下満男¹、財満鎭明^{1,3} ¹Grad. Sch. of Eng., Nagoya Univ., ²The Research Fellow of JSPS, ³IMaSS, Nagoya. Univ. [◦]A. Suzuki^{1, 2}, S. Toda¹, O. Nakatsuka¹, M. Sakashita¹, and S. Zaima^{1, 3} E-mail: asuzuki@alice.xtal.nagoya-u.ac.jp

【研究背景】ゲルマニウム(Ge)は、シリコン(Si)に比べ電子・正孔ともにキャリア移動度が大きく、次世代の金属-酸化膜-半導体電界効果トランジスタ(MOSFET)のチャネル材料候補である。しかし、Ge-nMOSFETの実用化に向けては、金属/n-Ge界面における、強いフェルミレベルピニング(FLP)に起因する高いショットキー障壁高さ(SBH)が問題である。我々は最近、金属/Ge界面へのSn組成47%のゲルマニウム錫(Ge_{1-x}Sn_x)層の挿入によるSBHの減少(~0.54 eV)を報告した[*]。しかし、実用的な低抵抗金属/n-Ge 接合の実現には、さらなるSBHの低減が要求される。

本報告では、金属/Ge 接合へのシリコンゲルマニウム錫(Si_xGe_{1-x-y}Sn_y) 層の挿入に着目した。 Si、Sn の組成比が 3.7:1.0 の Si_xGe_{1-x-y}Sn_yは、Ge に格子整合する。格子整合 Si_xGe_{1-x-y}Sn_y/Ge 構造 は結晶性に優れ、欠陥密度の低い界面を形成でき、更なる SBH の低減が期待できる。

【試料作製】清浄化した *n*-Ge(001)基板上に、超高真空下で、膜厚が 6~8 nm、Si、Sn 組成(*x*、y)が (4%、1%)および(15%、6%)のエピタキシャル Si_xGe_{1-x-y}Sn_y層を 200 ℃ の基板温度にて形成した。 Si_xGe_{1-x-y}Sn_y層表面の自然酸化物を化学的に除去後、直径 200~520 µm のアルミニウム (Al) 電極 を高真空中蒸着によって形成した。裏面に Al 電極を同様に形成し、Al/Si_xGe_{1-x-y}Sn_y/*n*-Ge(001)ショ ットキーダイオードを作製した。また比較のため、Al/*n*-Ge(001)および Al/Ge_{0.58}Sn_{0.42}/*n*-Ge(001)ダ イオードも作製した。

【結果および考察】Fig. 1 は、Ge_{0.58}Sn_{0.42}/Ge(001)および Si_xGe_{1-x-y}Sn_y/Ge(001)試料の in-plane-XRD プロファイルである。Ge 基板由来の回折ピークよりも低角側に Ge_{0.58}Sn_{0.42} 由来の回折ピークが観 測された。これは、Ge_{0.58}Sn_{0.42} と Ge の格子定数差に由来した Ge_{0.58}Sn_{0.42} 層の歪緩和を示唆してい る。一方で、Si_xGe_{1-x-y}Sn_y 由来の回折ピーク位置は、いずれの組成の試料においても Ge 基板とほ ぼ等しい。すなわち、両者の面内格子定数がほぼ等しく、Si_xGe_{1-x-y}Sn_y/Ge 界面の結晶性は、 Ge_{0.58}Sn_{0.42}/Ge 界面と比較して優れていると推測される。

Al/n-Ge、Al/Ge_{0.58}Sn_{0.42}/n-Ge、および Al/Si_xGe_{1-x-y}Sn_y/n-Ge 接合の電流密度-電圧 (*J-V*) 測定を 100~300 K にて行い、順方向 *J-V*特性から各 SBH を求めた。300 K において、Al/n-Ge、Al/Ge_{0.58}Sn_{0.42}/n-Ge 接合の *J-V*特性は整流特性を示したのに対し、Al/Si_xGe_{1-x-y}Sn_y/n-Ge 接合はいずれもオーミック 特性を示した (Fig. 2)。Al/Si_xGe_{1-x-y}Sn_y/n-Ge 接合は、150 K 以下の低温領域において整流性が顕在 化した (図省略)。Al/Si_{0.04}Ge_{0.95}Sn_{0.01}/n-Ge および Al/Si_{0.15}Ge_{0.79}Sn_{0.06}/n-Ge 接合の SBH はそれぞれ 0.18 および 0.23 eV となり、いずれも Al/n-Ge, Al/Ge_{0.58}Sn_{0.42}/n-Ge 接合よりも低い (Table 1)。本結 果は、Ge に格子整合した Si_xGe_{1-x-y}Sn_y 界面層の導入により、低抵抗金属/n-Ge 接合の実現が可能に なることを示唆している。



【参考文献】[*] A. Suzuki et al., Appl. Phys. Lett. 107, 212103 (2015).

Fig. 1. In-plane-XRD profiles of $Si_xGe_{1-x-y}Sn_y/Ge(001)$ and $Ge_{0.58}Sn_{0.42}/Ge(001)$ samples.



Fig. 2. *J-V* characteristics of Al/*n*-Ge, Al/Ge_{0.58}Sn_{0.42}/*n*-Ge and Al/Si_xGe_{1-x-y}Sn_y/*n*-Ge Schottky diodes measured at 300 K.

Table 1. SBHs of Al/*n*-Ge, Al/Ge_{0.58}Sn_{0.42}/*n*-Ge and Al/Si_xGe_{1-x-y}Sn_y/*n*-Ge Schottky diodes.

	SBH (eV)
w/o interlayer	0.69
Ge _{0.58} Sn _{0.42}	0.59
Si _{0.04} Ge _{0.95} Sn _{0.01}	0.18
Si _{0.15} Ge _{0.79} Sn _{0.06}	0.23